

事務事業評価票〔市単独補助金〕

平成 28 年度

		担当課	福祉課				
基本事項	補助金(事業)名	敬老事業実施補助金			整理番号	0909	
	根拠法令等	島原市福祉団体等補助金交付要綱			実施を義務付ける規定	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章	第8章 健康で生きがいある生活を支える	予算目	3 款 1 項 2 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		節	第3節 高齢者福祉の充実	区分	その他		
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	各地区実行委員会及び自治会等			実施期間	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 不明 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 未定 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	永年にわたり社会に尽くしてこられたお年寄りを敬愛し、長寿をお祝いするため、各地区において70歳以上の方を招待して敬老祝賀会等が開催されている					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	地域の恒例行事として事業を継続し、高齢者に交流の場を提供するとともに、地域住民が一体となって事業を実施することにより、地域の活性化につなげる					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	9月1日現在で70歳以上の人数を基準に、1人あたり900円を敬老事業を実施する実行委員会に交付する。 ※平成27年度から、1人当たりの交付単価を100円減額(1,000円 → 900円)					
事業費等の推移	年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		10,841	11,039	11,100	9,926	10,236
	① 団体等事業費(千円)		16,240	16,633	17,305	15,734	15,734
	② 歳入内訳(千円)	会費等	4,765	4,749	4,832	4,833	4,833
		前年度繰越金	1,774	2,048	2,082	1,656	1,549
		市補助金	10,841	11,039	11,100	9,926	10,236
		その他の助成金	849	799	883	799	799
その他雑収入		59	80	64	69	69	
次年度繰越金(②-①)		2,048	2,082	1,656	1,549	-	
27年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項目		金額	項目		金額		
記念品・祝金代		7,281					
祝宴費		6,569					
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助成事業の効果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	高齢者を敬愛し、長寿をお祝いするとともに、毎年多くの高齢者の交流の場となっている また、地域の恒例行事として定着しており、事業の継続によって地域の活性化につながる
② 市の関与の必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	地域の恒例行事として定着しており、地域と一体となり長寿をお祝いするものであり、事業費に占める補助金の割合も高く今後も必要である
③ 団体の事業内容や助成の在り方等の見直し必要性	<input type="radio"/> 見直しの必要はない <input checked="" type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	高齢者の増加に伴い事業費の増加が予想されるため、補助単価の検討が必要である
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 総合評価 </div>	判 定	<input type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input checked="" type="radio"/> B4 その他の見直し <div style="margin-left: 150px;"> 休止・廃止の具体的な方向性 </div> <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) ——> () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) ——> ()
	判 定理由	
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1~B4の場合)	課 題	
	見直しの方向性	

◎2次評価

判 定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し ▼
備 考	単価の見直しだけが問題ではなく、老人を敬うという事業の目的を踏まえ、敬老会の在り方・内容の見直しを検討する必要があると思われる。

◎3次評価

判 定	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> ▼
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)		
<input type="checkbox"/> 補助額の削減	<input checked="" type="checkbox"/> 補助額の増加	<input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input type="checkbox"/> 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 192 千円
備 考		

(敬老事業実施補助金)